



おかむら通信 214号

令和5年2月号

ご挨拶 当院にかかれておられるすべての患者さん、今年も、もう2月に入ってきましたね。様々な苦難を大なり小なり感じておられて、医療機関への通院を控えたり、おっくうになったり、いや急に病状の変化がでてきて救急病院に入院され一命をとりとめた方々も全国で結構おられたようですね。必要な治療を的確に受けられなくなって救急要請される例が増えているようです。あきらめずに、どうか計画的な病院受診をお願いいたします。

今月の言葉 なんといいよいか、あらゆるところに戦いが存在します。体の動きも徐々に緩慢になってきていても、ご自分の心だけは大事に守ってください。お互い気持ちの通じあえる人たちとともに生きてゆきましょう。

院長の一言は今月はお休みです。庸介先生のコーナーがあります。



< 庸介先生のコーナー >

第4回 自己肯定感って言葉、嫌いじゃありません。皆様お久しぶりです。そしてお疲れ様です。いや色々ありますねえ。あんまり辛い時はテレビのニュースを消してBSの番組で景色とか見るのもいいですよ。そんな訳で、今回はコロッと話題を変えて(ネタがつかたので)、心の病について話してみましようか。

研修医時代に精神科を回った時、うつ病の特徴を教えてくださいました。「不眠、食欲なし、興味なし」だそうです。「眠れていますか?」「ご飯はたべられていますか?」「テレビとかスマホとか新聞とかみられていますか?」ってきくことが大事だと。これが全部そろってるとうつ病かもしれないってことですね。チェックリストとしてもよさそうです。皆様ご参考ください。

世代論になりますが(院長みたいになっちゃいますね)、やっぱり日本は敗戦を経験し高度成長してきた国ですので、「働かざる者食うべからず」的考えがかなり強くインストールされちゃってる気がします。これが時代の変遷によって結構きついヤツになっちゃってる気がします。もう現代に合わないんですよね。教育方法も「否定や減点方式」が基本でしたので、心に闇を抱えてしまったり、身動きできなくなっちゃう人がでてくるんですよ。

ってな訳で、これからの日本は人口も減っていきますし成長できないことは明白ですから、心にインストールされてる基本OSを変えていく必要があるのではと考えています。自己肯定感ってあるじゃないですか。これを高めるには、やっぱり周りの人を肯定するところから入るのがいいんじゃないかと。老後を考えて金のことばかり考えると苦しくなっちゃうんで、子供でも仲間でも誰でもいいから、「コイツらを守るために俺は生きてる」って生きるのも結構面白いもんじゃないですよ。そもそも自由に生きるにはお金が必要





ですが、目的はそこに設定しないことも大事ですよ。あくまで手段ってことで。人生、一見無駄なことも無駄じゃないんで、音楽でも小説でも映画でもアニメでもアイドルでもなんでもいいんで、何か好きなコンテンツを見つけて愛するのも大事ですね。それだけで何とか生きていける人もいるそうです。

最近は何んだかそんなことを考えることが多いです。では皆様。そのためにも出来る限り心身ともに健康を保って参りましょう。お疲れ様です。



<院長の1月の活動報告>

12/ (木) 松戸中央 RC にて新年あいさつ 年長者として

12/ (木) WEB 「木曜会/炎症性腸疾患の治療の近未来について」

慈恵会医科大学 消化器・肝臓内科 主任教授

15/ (日) 「胃内視鏡による粘膜委縮の評価」 「慢性胃炎と機能性ディスペプシアの関係」 「超高齢者の糖尿病の治療を考える」 以上文献にて考察

18/ (水) WEB 松戸市医師会学術講演会 「難治性肩関節痛の臨床と実際」

船橋整形外科 スポーツ医学・関節センター長

22/ (日) 電気保安協会設備点検作業 当院にて

24/ ((火) 「マック症(呼吸器疾患)の治療について/漢方の立場から考える」
文献による

25/ (水) WEB 「老年症候群で用いられる漢方薬の検討」 東海大学准教授

26/ (木) WEB 「糖尿病と動脈硬化症・SGLT2 阻害薬の果たす役割」

海老名総合病院 糖尿病センター長

28/ (土) 有志の会 赤坂見附界限

30/ (月) 日立メデイコ MSHCT 点検と当院用のトランスの変換に関して

30/ (月) WEB 「SGLT2 阻害薬が開く慢性心不全治療」

船橋市立医療センター 循環器内科部長

#アルツハイマー病(認知症)の新しい薬が今年の3月末までに承認申請を国内欧米で行われる予定のようです。より安全な、本当に効果のあるおくすりであればぜひ期待したいですね。



子供が大きくなり、節分の豆まきはしなくなりましたが
毎年、お願い事をしながら恵方巻きを家族で食べています



島津

